

電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	メディア制作論特論		
英文授業科目名	Topics on Digital Media Production		
開講年度	2008年度	開講年次	
開講学期	前学期	開講コース・課程	博士前期・後期課程
授業の方法	講義	単位数	2
科目区分	電気通信学研究科-人間コミュニケーション学専攻-専門科目		
開講学科・専攻	人間コミュニケーション学専攻		
担当教官名	児玉 幸子		
居室	西6-411		

公開E-Mail	授業関連Webページ
kodama@hc.uec.ac.jp	

【主題および達成目標】
インターネット上のコンテンツや電子機器を組み込んだ玩具，コンピュータによる映像処理など，デジタル技術によってメディアコンテンツの裾野が広がり，新しい制作の方法論が問われている．授業では先行作品とその技術に関して，実際にミュージアム等に行って体験するほか，映像・文献資料によって理解し，芸術とテクノロジーの関係について議論を行う．

【前もって履修しておくべき科目】
特になし

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
特になし

【教科書等】
書籍に関しては，授業時に指示する． メディアアートに関する論文，コンテンツ論文を1部ずつコピーし配布します．

【授業内容とその進め方】
(a) 授業内容 前半：SIGGRAPHやArs Electronica等の映像資料を見ながら，先行作品と論文を調査する．開講期間中に，ミュージアム見学を行う予定です． 後半：メディア制作の方法論に関する議論を行い，各自テーマを設定して発表とレポート提出．

電気通信大学 平成20年度シラバス

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

出席率と議論への参加の度合い，発表/レポートの内容と形式によって点数を付けます．従来の様々なメディアコンテンツに触れることでデジタル技術の効果的な活用方法を修得し，メディア制作の方法論の基礎を理解しているかで達成度を評価します．

【オフィスアワー：授業相談】

水曜5限

【学生へのメッセージ】

デジタルメディアによる「もの作り」は，領域横断的な知識をうまく組み合わせることが重要．異なる領域の専門家とのコラボレーションも時には必要になります．旺盛な好奇心をもって授業に臨んでください．

【その他】

西6号館7階705号室で開講します． 部屋が変わりました．